

幼子とともに

2月号

はじめに

2月は、感染症の流行による休園と雪による自由登園など、大変ご迷惑とご心配をおかけするところからスタートしました。改めまして皆様のご理解とご協力に、心より感謝を申し上げます。今年度、残り少ない保育期間ではありますが、子どもたちの健康と安全を考慮した上で、子どもたちの成長に、精一杯寄り添いつつ、幼子とともに、歩んで参りたいと思います。

ほっこりエピソード

上記にもありますように、自由登園と休園が続ぎ、久しぶりの登園初日、バスでは、子どもたちが、次のように言っていました。「幼稚園がなくて寂しかった」「幼稚園が休みだと涙がでるよ」と。この言葉の中に、子どもたちが、どれだけ、この幼稚園を大好きでいてくれているかが、はっきりと伝わってきます。また、このように、自分の思いを素直に表現できるところも素敵だなと感じました。

幼稚園の先生方に共通する思いの一つ、それは、子どもたちに「幼稚園が楽しい」と感じてもらいたいということです。そのために、先生方は、子どもたちをよく見て、よく理解することに力を注ぎ、その一つ一つの場面を、お互いに共有しあうことを大切にしています。一人の子どもに対して、全体で眼差しを向けて、この子のためには何ができるのかを考えています。

そこにいる一人の子どもが、自分らしく、のびのびと過ごし、今日楽しかった！明日が楽しみ！と考える保育・教育をこれからも続けて良ければと願っています。

雪の日の様子

予想以上に、沢山の雪が降りました。これだけの雪の量は、私も久しぶりでありました。残念ながら、バスの運行は難しく、自由登園となりましたが、登園してきた子どもたちは、お外に出て、雪だるまを作ったり、雪合戦をしたりと、この環境を自然に楽しんでいる様子でした。

何よりも、園長が、一番のりで雪だるまを作っていましたから、その様子をみた先生方が、一番乗りの園児みただねと言い、保護者の方も笑いながら、園長が楽しそうに遊んでいると声をかけてくださいました。

子どもたちは、雪に触れて、「冷たい」「冷たくて手が固まった」「雪玉を転がしたら大きくなった」「地面がぐちゃぐちゃしてる」など、本物に触れなければ決して、味わえないことを沢山経験していました。帰り道に、雪解け水が屋根からぼたぼたと垂れている様子を見て、お母さんが「雪がとけてるね」「雨みたいだね」と子どもたちにお話しをしているのを見かけました。大人にとっては、当たり前の現象ではありますが、子どもにとっては、新しい発見でもありましょう。いつもと違う環境だからこそ、子どもたちに刺激ある言葉がけをすることで、子どもの内に新しい発見が生まれ、知識や知恵が豊かにされるのだらうと思うのです。当たり前のことを当たり前で終わらすのではなく、子どもにとっては、新しいものであるという視点で、子どもと接していきたいものですね。

保幼小接続と連携に思いを馳せて

この時期になりますと、年長の子どもたちの間でも、「不安」と「希望」が入り混じる様子が垣間見られます。保護者の皆さまにおかれましても、小学校への期待と不安があるかもしれません。現代の幼児教育における一つの課題に、保幼小接続があります。幼稚園での生活に慣れた子どもたちが、小学校

にあがる際、様々な状況の変化についていくことができない、という現実があるのです。そのために、小学校との連携、引継ぎの強化は、非常に大切なことであると、私は感じています。小学校の担任が、幼稚園の保育や教育の在り方をはじめ、子ども一人一人の個性を、より知ること、少しでも段差を低くし、スムーズに学校生活に馴染んでいくことが大切なのです。

しかし、現状としては、そのような接続の強化は、まだまだ不十分な現実があると感じます。特に私立幼稚園から公立小学校の間には、教育の在り方に大きな溝がないとは言えない状況があると思うのです。子どもたちが、喜んで小学校生活を送れるように、幼稚園と小学校が寄り添い合いながら、対話を重ねつつ、歩んでいきたいと願うばかりです。私の個人的な思いとしては、今後、小学校との連携や交流を深め、越谷幼稚園の教育の在り方、子どもたちの個性を知ってもらえる機会を増やしていければと考えています。また、ホームスクールやフリースクール、学習支援や放デイなど、様々な可能性を考慮し、それらの団体とのパイプを作っていくことも大切であると考えています。

何よりも、越谷幼稚園は、いつでも、笑顔で、「おかえり」と言える居場所になれば幸いです。幼児教育だけ終始するのではなく、卒業後の子どもたちの人生に関われる園でありたいと願うものです。

園長 須賀 工

栄養だより

《免疫力を高めましょう》

免疫とは、身体を守ってくれる重要な仕組みです。そしてその免疫は、食べたものが消化・吸収される”腸”に備わっていることが大切です。ですからその免疫を増やすための生活を心がけましょう。具体的には、次のようなことからです。

①しっかり3食食べましょう。

免疫細胞の主成分であるたんぱく質や免疫細胞を保護するビタミンやミネラルを含む野菜類、また腸内バランスを整える発酵食品などを取り入れましょう。

②十分な睡眠と休養で身体を休めましょう。

体温が1度下がると免疫力が30%下がると言われています。自分の平熱を知り、体温が下がらないようにしましょう。また体温を保持するのは筋肉なので、運動をして筋肉量を維持するようにしましょう。

③たくさん笑いましょう。

よく笑ってください。笑うことでウィルスに感染した細胞を退治する細胞が活発になります。子どもたちと一緒にたくさん笑って過ごしていきましょう。

いけだ かすみ